

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



**JF** 高松市北浜町8-25  
TEL 087-825-0350  
FAX 087-851-0699  
JF香川漁連

## 平成23年度新組織

4月1日日本会の機構改正が下記のとおり行われた。組織図は、変更はなく従来通り。

### 主な人事異動

氏名	(新)	(旧)
山本 秀敏	加工事業部部長	加工事業部次長
西滝 丈二	販売事業部次長 餌料課課長兼務	購買事業部 石油課課長
鎌倉 一郎	東京支所次長	東京支所 販売課課長
鎌田 勝史	東京支所次長	東京支所 販売課課長
久保 勝	瀬戸内工場 工場長代理	東京支所次長 久里浜事務所長 兼務
宇山 俊文	検査室調査役	販売事業部 餌料課課長
瀧岡 仁志	購買事業部 資材課課長	購買事業部 資材課課長補佐
杉崎 弘幸	購買事業部 石油課課長	瀬戸内工場 副工場長
阿部 真士	加工事業部 加工販売課課長	加工事業部加工 販売課課長補佐
算用子 一登	東京支所 販売課課長	東京支所 販売課課長補佐
下山 友三	大阪支所 販売課課長	大阪支所 販売課係長
大屋 敷新治	購買事業部 資材課課長補佐	購買事業部 資材課係長
川口 昌仁	購買事業部 資材課課長補佐	購買事業部 資材課副調査役

氏名	(新)	(旧)
大井 安則	加工事業部加工 販売課課長補佐	加工事業部加工 販売課副調査役
赤坂 元春	販売事業部 販売課課長補佐	販売事業部 販売課係長
北山 裕一	販売事業部 販売課課長補佐	販売事業部 販売課副調査役
木村 俊二	販売事業部 餌料課課長補佐	販売事業部 餌料課係長
新谷 卓也	大阪支所 販売課課長補佐	大阪支所 販売課副調査役
田村 直樹	東京支所 久里浜事務所長 兼三崎事務所長	東京支所 三崎事務所長
黒石 英之	販売事業部 引田加工場 副工場長	販売事業部 引田加工場 係長
内海 靖裕	総務部総務課 課長補佐	総務部総務課 副調査役
松原 照太	大阪支所 販売課係長	大阪支所 販売課主任
川原 純一	販売事業部 引田加工場 係長	販売事業部 引田加工場 副主任
山内 章三	総務部 総務課主任	販売事業部 引田加工場 主任

## 新人職員奮闘記

### 販売事業部販売課 杉浦 匠

平成22年度より販売事業部販売課でお世話になっております杉浦匠です。今後ともよろしく願致します。

本会に入会してからはや1年が経とうとしております。この1年は、常に新しい発見、体験との出会いがあった日々でした。

入会して直ぐに、瀬戸内地区での込網漁でのナシフグやトラフグ、シリヤケイカにマナガツオの荷受が始まりました。早朝からの作業、それに加えて引田での定置網で捕れた天然魚の出荷作業も行い、毎日が疲労困憊といった感じでしたが、充実感がありました。

引田での定置網で捕れた天然魚の出荷では、水槽を積んだ3.5tトラックを使ってタイやスズキなどを生かしたまま市場に出荷、またメ物については、出来るだけ見栄えを良くし高価にするために、大きさをそろえたり、汚れを落としたりして、箱に仕立てて出荷しました。

この天然魚の出荷を一年間担当しました。天然魚なので毎日の漁模様が予測できないことが一番困難なことでした。雨や風によって漁獲量の増減が激しく変化し、季節によっても魚種、漁獲量の変化が見られました。昨年12月末にはタイが1日に1.5t程捕れることもありましたが、これほどの量を販売できたのは、取引先の市場や水産会社の方々、また先輩方の助けがあってやっとのことでした。多くの方々に助けられながらの仕事をし、感謝の気持ちでいっぱいです。

この1年間で魚についてのことだけでなく、人としての考え方なども多く学べたと思っています。まだ知恵も浅く、作業を一生懸命にやることしかできませんでしたが、これからは考えて仕事をするのを心がけながら努力していきます。これからも皆様にはご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

### 販売事業部販売課 豊島悠也

平成22年度より、販売事業部販売課でお世話になっております豊島悠也です。今後ともよろしくお願い致します。

漁連に入会して早くも1年が過ぎようとしていますが、振り返る暇もなくあっという間に過ぎたように感じます。魚に関する知識が乏しかった私には毎日が新しい発見の繰り返しでとても充実した1年でした。

私は入会当初から主に餌料課の業務を中心に携わっているため、ハマチなどの餌となるイカナゴやイワシなどの生餌に触れる機会が多くあり、最初に庵治でイカナゴの荷受作業を行いました。イカナゴは加工用を除き全て餌となっていたのですが、それまでは養殖魚の餌については考えたこともなく、毎日のように10トン、20トンと冷凍されていく大量の餌に驚いたのを覚えています。

4月の後半頃からは瀬戸内地区でのシリヤケイカ、トラフグ、ナシフグの水揚げが始まりました。この作業は深夜から早朝にかけての作業で時間的に慣れない部分もあり大変でしたが、どの光景や作業も新鮮なものばかりでやりがいを持って作業を行いました。

夏から秋頃にかけては各漁協や浜へ行き、トラックから冷凍餌料を降ろす作業が中心でした。この作業では上司や組合の方々のスピードについていけず迷惑をかけてばかりでしたが、厳しくも丁寧なご指導もあり日々を重ねるごとに少しずつですが上達することができました。冷凍餌料にも様々な魚種があり、降ろしながら魚種、鮮度、目方や魚のサイズなど餌料販売に関する知識を学びました。

秋から冬にかけては県内のハマチ・カンパチの出荷作業を主に行いました。沖での作業は初めてだった為最初は何をしていいかわからず戸惑いましたが、生産者や各漁協の方々に教えてもらいながら効率よく出荷作業が進むよう努力しました。

この1年間で漁業に関する様々な知識を学び、貴重な経験を積むことができました。来年度からはさらに知識を付けていくとともに、学んだ知識を生かして香川県漁連、水産業界の発展に繋がるよう努力していきますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

### 総務部総務課 片岡美和

平成22年度より総務部総務課でお世話になっております片岡美和と申します。

私が本会に入会してはや1年が経とうとしています。振り返ってみると、あっという間に過ぎた気がしています。

入会した当初は、何が分からないのか分からないという状態でした。先輩方に何度も何度も質問し、ご指導していただきました。高校を卒業してすぐで、何もかもが初めての経験だった私は、毎日が一杯いっぱいごとにかく大変だったことを覚えています。

私の仕事は、主に文書発送でした。毎日、明細書や納品書などの発送をしていましたが、何度か不注意で間違った所へ発送してしまったりと、皆様にご迷惑をおかけしたこともありましたが、以後、同じ間違いがないようさらに細心の注意をはらうよう心がけました。

仕事を始めて1年が経った今でも、まだまだ分からないことが多く、先輩方には毎日ご迷惑をおかけしている私ですが、今年度より経理課への異

動となりました。この1年で学んだことを生かし、できるだけ早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っています。

この1年は、自分のことで精一杯でしたので、社会人生活2年目となる今年は、周囲に目を向け、周りにもっと気配りができるようにしたいと思っています。

これからも、少しでも本会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。皆様には、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、一生懸命頑張りますので、今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。

## 香川県産乾海苔品評会表彰式

2月10日(木)に開催された香川県産海苔品評会の上位8位までの表彰式が、3月30日(水)に漁連会館6階大会議室にて行われた。

受章された方々にお祝い申し上げます。

表彰された8名の方は下記の通り

賞名	漁協名	生産者名
香川県知事賞	鴨庄漁協	石原義博
香川県議会議長賞	鶴羽漁協	宇山一美
香川県農政水産部長賞	土庄中央漁協	柳生之彦
香川県漁業協同組合連合会長賞	引田漁協	三和水産(有)
香川県信用漁業協同組合連合会長賞	津田漁協	黒田静雄
(社)香川県水産振興協会会長賞	東讃漁協	楠田照行
香川県海苔養殖研究会会長賞	鴨庄漁協	野崎勲
さぬき海の幸販売促進協議会長賞	北浦漁協	谷口靖



# JFグループ東北地方 太平洋沖地震被害 義援募金募集中

去る3月11日(金)午後に発生した東北地方太平洋沖地震と大津波は、多くの尊い人命を奪うとともに、漁業・漁村に壊滅的な被害を与えております。中でも岩手県、宮城県、福島県は想像を絶する甚大な被害を受けており、復興の長期化が憂慮されています。

ここに、亡くなれました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられました方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この事態に対し、JFグループでは10億円を目標に標記義援募金運動を実施することになり、本県におきましても本会をはじめ系統団体で協議した結果、義援金の依頼及び取りまとめを本会が行うこととなりました。

つきましては、下記により義援金を募りますので、この趣旨にご理解いただき、特段のご協力をお願い申し上げます。

なお、取引先等への協力の依頼も重ねてお願い致します。

記

### 1、振込先

信漁連本所 (普) 0329556

口座名 「がんばれ漁業募金口」  
(ガンバレギョギョウボキングチ)

### 2、募金締切日

平成23年4月15日(金)

JF全漁連・服部郁弘代表理事会長より「東北地方太平洋沖地震」について声明がだされましたので掲載します。

## 東北地方太平洋沖地震被害に係る声明

### —我が国漁業の復興へのご理解・ご支援のお願い—

3月11日、我が国を襲った東北地方太平洋沖地震と大津波は、多くの尊い人命を奪うとともに漁業・漁村に壊滅的な被害を与えております。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

国におかれては、人命の救助と被災者の救援を最優先にお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

JFグループといたしましては、「JFグループ東北地方太平洋沖地震漁業・漁村災害・復興対策本部」を直ちに設置し、政府及び関係団体と連携して被害状況の把握・救援、一日も早い復興に、全国の漁業者とともに総力を挙げて取り組んで参る所存であります。

特に、津波による沿岸域の被害は甚大なものであり、漁船、陸上施設の被害のみならず、海に押し流された施設の除去等、漁場の復旧には相当の時間を要すると考えられます。

漁業者並びにJFグループは、未曾有の苦難を乗り越え、食料供給や国民生活の安全確保の責務を今後とも果して参る所存であります。国並びに国民の皆様におかれましては、被災者の救助・救援、また、漁業・漁村の一日も早い復興に、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年3月14日

全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長 服部 郁弘